

11月の相談

日 開催日 時 時間 所 場所
 予 予約受付 問 問い合わせ先

法律相談 (要予約) 7日(木)

時 13:30~16:30 所 市役所1階 市民相談室
 予 1カ月前から 問 市民生活課 ☎22-1116
 ※内容により、お受けできない場合があります。

行政相談 12日(火)・26日(火)

時 9:30~11:30 所 市役所1階 市民相談室
 問 市民生活課 ☎22-1116

司法書士による法律相談 22日(金)

時 14:00~16:00 所 ひまわり会館1階
 問 市民生活課 ☎22-1116

消費生活相談 平日開館

時 9:30~16:30 所 消費生活センター
 問 消費生活センター ☎24-3251

特設人権相談 13日(水)

時 13:30~16:00 所 桑野公民館・羽ノ浦公民館
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

人権相談 20日(水)

時 13:30~16:00 所 ひまわり会館1階
 問 人権・男女参画課 ☎22-3094

女性の生き方なんでも相談 (要予約)

日 5・12・19・26日 時 13:00~17:00
 日 8・22日 時 13:00~16:00
 所 市民会館2階 相談室 予 随時
 問 男女共同参画室 ☎22-0361

年金相談 (要予約) 7日(木)

時 9:00~15:30 所 市商工業振興センター
 予 1カ月前から電話による完全予約制
 問 徳島南年金事務所 ☎088-652-1511
 ※12月の相談日はありません。

子育て家庭教育電話相談 (来所相談も可)

日 月曜日~金曜日 (祝日除く) 時 9:00~12:00
 問 子育て家庭教育支援チーム ☎42-3885

心配ごと相談 11日(月)・18日(月)・25日(月)

時 10:00~15:00 所 市民会館内社会福祉協議会
 問 社会福祉協議会 ☎23-7288

11月の休日・夜間診療

軽症でも急いで治療の必要がある場合、市内の医療機関で受診できます。

●休日昼間 9:00~17:00

| 日 | 医療機関名 | 所在地 | 問い合わせ先 |
|-----|----------------|------|----------|
| 3日 | 阿南医師会中央病院内 | 宝田町 | ☎22-1313 |
| 4日 | 宮本病院 | 羽ノ浦町 | ☎44-4343 |
| 10日 | 馬原医院 | 新野町 | ☎36-3339 |
| 17日 | むらかみ内科循環器クリニック | 羽ノ浦町 | ☎44-1010 |
| 23日 | 阿南医師会中央病院内 | 宝田町 | ☎22-1313 |
| 24日 | 阿南医師会中央病院内 | 宝田町 | ☎22-1313 |

※市内の休日医療機関は、変更される場合がありますので、阿南市医師会(☎22-1313)までお問い合わせください。

●夜間(毎日)の当番 17:00~22:00

市内の医療機関または阿南医師会中央病院内
 ※阿南市医師会(☎22-1313)までお問い合わせください。

●小児救急医療体制

24時間365日徳島赤十字病院が小児救急患者を受け入れていきます。(事前の電話連絡は不要です。)

11月の市税

- 固定資産税(第4期)
 - 国民健康保険税(第6期)
- 納期限は、12月2日(月)です。納め忘れのないようにしましょう。

日曜相談窓口 24日(日) 8:30~17:00 (市役所1階納税課)

問い合わせ先 納税課(☎22-1792)へ

11月の平日延長窓口

6日(水)、20日(水) 17:15~18:15 市役所本庁1階

- 住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、身分証明書の交付
(※時間延長時は、住民異動・印鑑登録・住基カードの発行等は行っていません。)
 市民生活課(☎22-1116)へ

- 納税相談 納税課(☎22-1792)へ

人口と世帯数

人口 76,937人(+1)
 (男) 37,102人(+7)
 (女) 39,835人(-6)
 世帯数 30,057世帯(+38)

※平成25年9月末日現在
 カッコ内は前月対比

公共下水道受益者負担金

納期限

分割納付の第2期
 12月2日(月)

問い合わせ先
 下水道課(☎22-1796)へ

スポーツ施設11月の休館日

| | |
|---------------|-------------|
| サンアリーナ(温水プール) | 5・11・18・25日 |
| 那賀川スポーツセンター | 6・13・20・27日 |
| 羽ノ浦総合国民体育館 | 5・11・18・25日 |
| 羽ノ浦健康スポーツランド | 5・11・18・25日 |
| 県南部総合運動公園 | 5・12・19・26日 |

編集室の窓

以前、娘とこんな会話をしたことがあります。「それ何のゲーム?」「犬を育てるゲーム」「おもしろい?」「うん」。少し違和感を覚えたものの、その時は深く考えることをしませんでした。しかし、よくよく考えてみると、「犬と触れ合う」ことをゲームの中でしか体験できない娘の姿を見て、どこかかわいそうにも思いました。自分が幼い頃に犬を飼っていただけになおさらです。皆さんにも、こんな経験はないでしょうか。「育児」は「育自」とよくいわれます。ここはひと肌ぬいで…。(山田)

市内にはたくさんアサギマダラ愛好家の皆さんがいて、愛好家同士で飛来状況などの情報を交換することも多いそうです。「アサギマダラもう飛んできたん?」「まだなんよ。そっちはどう?」こんな風に、アサギマダラを通して新しい縁が広がっていく。本当にすてきなことだと思います。(相田)